

議会だより

No.74

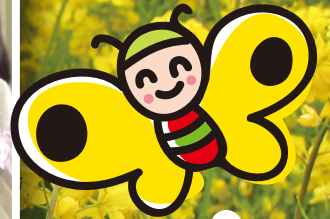
2012年5月1日 発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

まさき町



輝く君の



入園・入学おめでとう

3月定例会

2P H24年度当初予算 総額167億3千万円に
6P 賛否表・委員会ニュース
H23年度一般会計補正予算 6億2500万円に

10P

一般
質問

- ・ふるさと納税制度で復興支援は
- ・グループホームの公募を透明化に
- ・救急救命体制の強化を

16P

追跡

「あれは、どうなった～」

18P

公共施設紹介「こんなところですよ こんなこともしています」

ライフタウンまさき」の H24年度 予算決定!!

主要事業

- ① 安全・安心・快適な松前町を
- ② 健やかでやさしい松前町を
- ③ 人と文化が輝く松前町を
- ④ 豊かでにぎわいのある松前町を
- ⑤ 飛躍を支える基盤づくりを
- ⑥ みんなで力を出し合う松前町を

平成24年3月議会は、3月2日に召集され21日までの20日間の会期で開催しました。

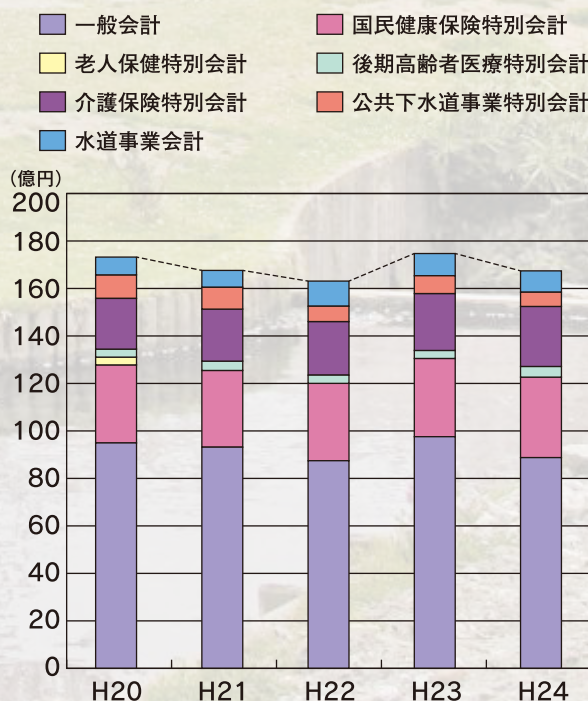
本会議には平成23年度一般会計および特別会計補正予算(第2,3,4号)、平成24年度一般会計、特別会計の当初予算案件11件、条例案件11件、人事案件1件、その他議決案件2件合計25件の議案が提出され、慎重な審議の結果、いずれも原案通り可決しました。(詳しくは、6ページをご覧ください。)

平成24年度の歳入については、大幅な町税収入の減額及び実質的な地方交付税についても予断を許さない状況となっています。

歳出は投資的経費が大幅な減額になる一方で認定子ども園委託料といった物件費、一部事務組合負担金を含む補助費などが増加傾向にあり引き続き大幅な財源不足に陥っており、依然として厳しい財政状況が続くでしょう。

このような中でも新たな行政課題や社会情勢の変化に対応した「第4次総合計画」の実現に向けた重点的な予算配分となっています。

当初予算総額推移

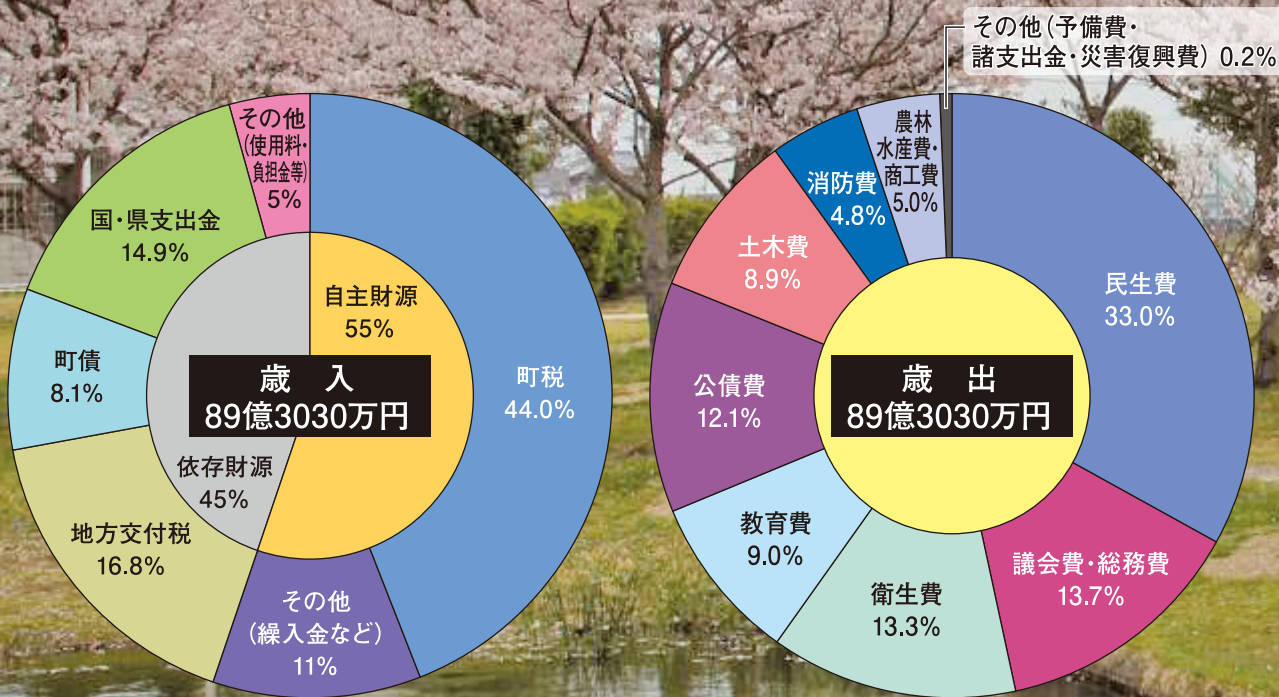


「水きらめき 笑顔あふれる」

総 額 167億3千万円
一般会計 89億3千万円
特別会計 68億8千万円
水道事業会計 9億2千万円
(前年度比 7億2千万円 減)

※千万円単位にしています。

平成24年度 一般会計



町税	住民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
交付金など	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町債	自治体の財源不足を補うための借金
自主財源	自前で賄うことができる財源
依存財源	国や県の補助金や借金に頼る財源

民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などの事業に要する経費
議会費	議会活動に要する経費
総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費
衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
教育費	学習教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払利息
土木費	道路、公園や区画整理などの事業に要する経費 下水道事業特別会計への支出も含む

(単位：千円)

	平成24年度	平成23年度	差引き	備 考
議 会	129,167	144,679	△ 15,512	議員報酬、議会運営に係る事務費など
総 務 管 理	895,626	937,277	△ 41,651	文書広報、財産管理、企画、コミュニティ対策、防災、情報管理など
徴 税	149,717	158,124	△ 8,407	税務・賦課徴収
戸籍住民基本台帳	49,843	45,250	4,593	戸籍・住民基本台帳管理、旅券発給
選 挙	3,011	40,073	△ 37,062	愛媛海区漁業調整委員会委員選挙など
統 計 調 査	1,936	1,167	769	経済センサス活動調査、学校基本調査など
監 査 委 員	1,423	1,423	0	監査に係る事務費など
社 会 福 祉	1,774,480	1,955,774	△ 181,294	障がい者福祉、社会福祉施設、福祉医療給付、老人福祉、国民年金、人権対策、介護保険、福祉センター管理、国民健康保険、後期高齢者医療など
児 童 福 祉	1,155,373	1,536,390	△ 381,017	放課後児童クラブ、児童措置、母子福祉、母子医療給付、保育所など
保 健 衛 生	473,947	473,820	127	保健衛生普及、予防、環境衛生、公害対策、乳幼児・児童医療など
清 掃	713,139	641,314	71,825	廃棄物収集運搬、再商品化处理、焼却負担、し尿処理負担など
農 業	368,611	298,074	70,537	農業振興、地籍調査など
水 産 業	10,056	2,635	7,421	水産業振興
商 工	69,944	52,103	17,841	商工会補助、まさき夏祭り補助など
土 木 管 理	100,978	224,169	△ 123,191	土木管理
道 路 橋 り よ う	182,438	185,285	△ 2,847	道路維持、道路新設改良、街灯など
河 川	16,686	13,948	2,738	河川維持など
港 湾	638	638	0	港湾管理
都 市 計 画	426,111	396,234	29,877	公園管理、都市下水路、公共下水道など
住 宅	65,881	60,736	5,145	住宅管理・改良住宅管理
消 防	430,407	447,712	△ 17,305	非常備消防、水防、常備消防
教 育 総 務	86,199	90,908	△ 4,709	教育委員会、事務局など
小 学 校	123,614	393,133	△ 269,519	学校管理、教育振興、学校営繕、耐震化
中 学 校	178,707	203,320	△ 24,613	学校管理、教育振興、学校営繕、耐震化
幼 稚 園	66,151	66,799	△ 648	幼稚園管理、幼稚園営繕
社 会 教 育	235,416	225,595	9,821	公民館、文化財保護、図書館、青少年補導センター、文化センターなど
保 健 体 育	117,859	101,804	16,055	社会体育、給食センター、町民グラウンド管理など
災 害 復 旧	1	1	0	災害復旧費
公 債	1,083,664	1,066,587	17,077	元金、利子
諸 支 出	3,484	3,612	△ 128	水資源開発、基金
予 備	15,800	15,269	531	予備費
合 計	8,930,307	9,783,853	△ 853,546	

※△減額 □増額

特別会計予算

水道事業会計

総額 91,673万円

給水戸数 10,805戸
年間給水量 3,329,137m³
1日給水量 9,121m³

国民健康保険特別会計

総額 338,920万円

後期高齢者医療特別会計

総額 37,793万円

公共下水道事業特別会計

総額 57,974万円

介護保険特別会計

総額 253,998万円

一部事務組合議会予算

総額 25,789万円

分担金及び負担金 11,128万円
(内松前町分 5,526万円)

出身地別措置者数 (平成24年3月現在)

松前町… 20人 伊予市… 12人
砥部町… 4人 組合外… 14人



和楽園

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合

総額 40,378万円

分担金及び負担金 39,204万円
(内松前町分 25,015万円)



塩美園

伊予市松前町共立衛生組合

総額 203,980万円

分担金及び負担金 180,751万円
(内松前町分 39,906万円)



各消防署及び聖浄苑

伊予消防等事務組合

総額 57,004万円

分担金及び負担金 51,992万円
(内松前町分 24,673万円)



伊予地区清掃センター

伊予地区ごみ処理施設管理組合



3月定例議会

提出議案及び請願への 各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対 「欠」欠席

議員名	稲田孔	稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
議案・請願など														
請願第1号 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●	●	●
請願第2号 最低賃金時給1,000円の実現と中小企業支援策の拡充を求める請願書	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●	●	●
請願第3号 伊方原発の再稼働を認めないことを求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●	●	●
議員提出議案第1号 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書の提出について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第1号 町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第2号 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第3号 松前町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第4号 松前町手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第5号 松前町乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第6号 松前町母子家庭医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第7号 松前町総合福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第8号 松前町重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第9号 松前町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第10号 松前町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第11号 松前町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第12号 平成23年度松前町一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第13号 平成23年度松前町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第14号 平成23年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第15号 平成23年度松前町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第16号 平成23年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第17号 平成24年度松前町一般会計予算について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第18号 平成24年度松前町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第19号 平成24年度松前町後期高齢者医療特別会計予算について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第20号 平成24年度松前町介護保険特別会計予算について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第21号 平成24年度松前町公共下水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第22号 平成24年度松前町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第23号 人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
議案第24号 松前町副町長定数条例の一部を改正する条例	●	○	○	○	○	○	●	○	○	○	△	○	○	○
議案第25号 副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○

条例一部改正

① (議案第1号) 町長等の給与の特例に関する条例
前年度同様に給料月額10%減とする

② 地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
関連項目の一部改正

③ 松前町税条例
震災改定に伴う改正

④ 松前町手数料条例
条例中の文字の変更

⑤ 松前町乳幼児及び児童医療費助成条例
助成期間を年次から年齢に変更

⑥ 松前町母子家庭医療費助成条例
条例中の文字の変更、受給資格者の特例措置を設ける

⑦ 松前町総合福祉センターの設置及び管理に関する条例

施設の名称変更など

⑧ 松前町重度心身障害者医療費助成条例
条例中の文字の変更

⑨ 松前町国民健康保険条例
国民健康法の一部改定による改正

⑩ 松前町介護保険条例
介護保険法の改定により保険料の改正

⑭ 松前町副町長定数条例
「二人」↓「二人以内」

・提案理由

東日本大震災を教訓に安全・安心なまちづくり迅速かつ的確に対応するため、副町長の定数を変更し一人を防災担当と位置付けるものである。「行財政改革に逆行では」という反対意見もあったが、賛成多数で可決。

(賛成11、反対2)

新条例制定

⑪ 松前町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例

人事案件

⑮ 人権擁護委員候補者の推薦

・提案理由

前任者が任期満了となるので、後任者の推薦人権擁護委員として、田中安男氏の推薦があり、全員一致で同意した。

⑯ 副町長の選任

・提案理由

防災担当の副町長を新たに選任するため
中矢博史氏(現総務部長)を選任し、全員一致で同意した。

平成23年度一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位:千円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	10,043,883	625,874	10,669,757	6.2
前年度	9,141,424	99,208	9,240,632	1.1
前年度対比	109.9	630.9	115.5	

■松前町一般会計補正予算(第4号)主要事業

(単位:千円)

科目	項目	金額
民生費	児童福祉総務事業(保育所施設建設補助金)	△14,558
衛生費	廃棄物収集運搬処理事業	5,198
	共立衛生組合塩美園管理事業	△7,081
農林水産業費	土地改良事業	△18,828
土木費	北黒田海岸整備事業	△140,000
	町道整備事業	△40,525
	公共下水道事業特別会計(繰出金)	△79,267
消防費	常備消防費(一部事務組合負担金)	△5,788
教育費	学校耐震補強及び大規模改修工事(松前小・岡田小)	791,250
諸支出金	財政調整基金積立金	233,731
	大規模地震災害対策基金積立金	30,338



委員会
ニュース

平成23年度 補正予算
平成24年度 一般会計当初予算

総務

● 審査内容の主なもの

問 ◎H23年度補正予算関係
認定こども園エンゼルへの補助金が減額となったが、その内容と金額は。

答 建設費の減であり、2億7,843万3千円となり1,455万8千円の減額となった。その内県補助金が3分の2で、残りの3分の1が町の持ち出し分だ。

問 ◎H24年度当初予算関係
地域復興興委託料23年度の実績は。

答 町と自主防災会連合会により、東北大地震から1年目に当たる3月11日に「防災イベント」を開催し、約200万円を執行した。

問 第1分団消防詰め所の建築の予定は。

答 土地造成は今年度中に完了予定で、現在設計を行っている。建築費については、6月の補正予算を見込んでい

文教

● 審査内容の主なもの

問 ◎H23年度補正予算関係
公民館費の減額の理由は。

答 年間約700万円の増収になる。その使途は防災のための対策に充てるが、具体的な内容についてはこれから検討する。

問 実施については準備期間を設けている。

答 たばこ税は県から税源移譲されるのか。

問 個人町民税の均等割の引き上げによる、増収額とその使途は。引上げはなぜ26年度からなのか。

答 法人税制改正により県の増収分と町の減収分を調整するため、一部が町へ移譲された。

問 ◎H24年度当初予算関係
給食扶助の現状は。

答 要保護世帯に準じた所得世帯の児童・生徒に対して給食費を扶助している。

問 24年度の対象者は、

5人増えて219人を見込んでいる。

問 学校生活支援員の状況は。

答 小・中学校合わせて、12人の生活支援員を配置する。

問 文化センターの自主事業では、事業費の半分が町費のため町民を優遇する措置は取れないのか。

答 チケットは町内だけではなく、松山市内のチケット売り場や百貨店でも取り扱っており、松前町民を区別できるかなどの問題もあるため、今後の検討課題とする。

問 国体のホッケー競技場の進捗状況は。

答 24年度はホッケー場の基本計画を策定し、今後は、愛媛県と具体的に協議していく。

問 松前中学校改修計画技術支援委託料とは。

答 校舎の強さを判定する耐力度調査を現在実施している。専門的な知識を基に技術支援をしてもらうための委託料だ。



新築された「認定こども園」の全景



松小耐震改修工事
(プレハブ仮設校舎と併設で)

厚生

●審査内容の主なもの

◎H23年度補正予算関係
問 認定子ども園建設補助金減額の理由は。

答 入札減による設計分の補助金見直しである。

◎H24年度当初予算関係
問 交通事故を減らすま

ちづくりプロジェクト事業の取り組みは。

答 交通事故マップを、

大学のNPO、警察など交通安全関係機関と協議を行い作成し、10月頃に配布予定である。

問 資源ごみ持ち去りパ
トルールの取り組みは。

答 職員4名が1チームで、缶類と紙類の日の午前6時半から8時半まで実施する。

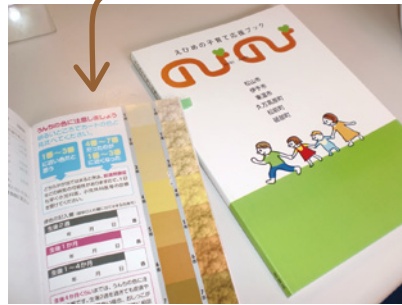
問 アスベスト撤去工事
費の概要は。

答 1件あたり100万円、調査費は25万円を上限として3件分を計上している。住民へは広報などで周知し、問合せには対応する。

問 母子手帳の『便のカ
ラーカード』対応は。

答 胆道閉鎖症の早期発
見のため、4月から母
子手帳に便色カラー
カードが追加された。

既に母子手帳を配布
済みの方には、出生手
続きの際、保護者に
『便色調カラーカード』
を配布して説明を行う
ことで対応する。



産業建設

●審査内容の主なもの

◎H23年度補正予算関係
問 北黒田海岸整備事業
の減額理由は。

答 県の開発許可が出て
いないので元に戻した
ため。

◎H24年度当初予算関係
問 松前港船上場の制御
室と巻揚げ機設置を補
助金にした理由と町の
対応は。

答 前は県の交付金事
業で実施したが、今回
は町単独事業で行う。
担当課が町の規則に
沿った執行を促し、指
導する。

問 早船川排水路改修工
事の施工方法は。

答 二重断面にして流水
を上げ、ヘドロの堆積
を抑制したい。

問 J R 関連予算の中身
は。

答 田中川改修工事と、
町道東170号線歩道
設置及び北伊予西口歩
道橋整備に係る測量委
託業務などである。

問 水道料金の未納に対
する取り組みは。

答 昨年度より、悪質滞
納者には停水を行って
いる。今後も停水を含
めた取り組みで、回収
に努めたい。



田中川改修工事でお色直し

あれこれ 町政を問う

Q. ふるさと納税制度で復興支援は A. 被災地支援は別途考える



藤岡 緑 議員

問 制度開始から4年経過したが、この間の寄付金の総計、使い道など内訳を。またその一部を東北大震災の被災地復興支援金に充てることはできないか。

答 町長

これまでの経緯で寄付金件数47件、442万円（内訳は下記の表）で、町のために使ってほしいと寄付された方々の意向に沿った施策に活用することが基本だ。

そのため被災地支援は別途考えるべきものとする。これまで大規模地震災害対策金から一千万円、住民からの義援金350万円などを被災した市町村や県の笑顔の助け合い基金にも出している。

また人的支援として、消防士や保健師を各2名税の事務支援に2名などこれまで8人の職員を派遣している。

今後も引き続き住民の皆さんに義援金をお願い

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
使い道(事業)			
生活環境分野	50千円/1件	0円/0件	40千円/2件
産業・経済振興、生活基盤整備	0円/0件	0円/0件	0円/0件
福祉・保健・医療分野	1,000千円/2件	1,300千円/12件	1,502千円/16件
教育・文化振興	50千円/1件	0円/0件	0円/0件
町長が選択した事業	160千円/3件	40千円/2件	88千円/3件
合計	1,260千円/7件	1,340千円/14件	1,630千円/21件

(ふるさと納税実績表)

もしていききたいし、行政支援についても積極的に取り組んでいく考えだ。

平成23年(3月末)で、19件123万5千円

問 コンビニ収納の進捗度は

以前に質問したが、その後の収納システム拡充は進んでいるか。

答 口座振替を推進していく中で研究を続ける

総務部長

軽自動車税のように一回納付で収納期間が短い場合は、効果が大きく納税者の利便性の向上につながっている。

運用経費面では口座振替納付に比べて約6倍の経費がかかり、住宅家賃など口座振替を推進していくのが有効と考え、これをPRしている。

納めやすい環境づくりは、今後も研究し続ける。

問 働く女性と子育て支援は

出産後早く職場復帰できる環境として待機児童問題、特にゼロ歳児について、当町の子育て支援策は。

答 認定こども園の開園で待機児童ゼロが期待できる

保険福祉部長

毎年園児募集を10月に行い年度当初は全員受入れ可能だが、年度途中でゼロ歳児保育の要望が増加した時、臨時保育士の確保が難しく待機のお願いをすることもあった。24年度から認定こども園の開園などでゼロ歳児定員枠9名、看護師配置などで充実した保育内容となり町としても期待している。

Q. グループホームの公募を透明化に A. 公開するかは委員会の意見で決定したい



村井 慶太郎 議員

問 今回もグループホームの公募があるが、決定方法がまったく不透明だ。

伊予市では、公募の採点から決定まで公開となり、かなりの傍聴人が見守っていた。

これこそクリーンだと感じた。それに対して本町の公募、決定方法は不透明過ぎると取りざたされている。

「見える、わかる、クリーン」が信条なら今後の公募、決定方法を考え直すべきではないのか。

答

保健福祉部長

事業所の選定は、介護保険事業運営委員会において、設置主体の適格性、施設の運営方針や整備方針なども総合的に審査した上で、事業所の決定を行っている。

地域密着型施設の整備は、公正な事業所指定を行っているが、第5期事業計画における整備事業者の選定は、今後、運営

委員会を公開とすることでうか、その開催方法などを、委員の意見で決定したいと考えている。

問 タウンミーティングのありかたは

各区長、副区長などから要望や陳情的なものを聞くと思うが、要望に対して達成したものはあるのか。

答 基本的には意見交換の場である

町長

地域にとって対応がすぐできるものについては当然対応していく。

これからもこういう場を使ってぜひ住民の皆さんの考えも聞き、また私なりに考えていることを申し上げるといいう意味では意義がある。

要望があれば、今後も続けていきたい。

問 今後の防災対策のビジョンは

防災道路として位置づけしていた西古泉筒井線の今後の計画は。また、地権者との交渉は。

その他の地区の防災道路計画はあるのか。

今後の防災対策のビジョンは具体的にどのようなものか。

答 地域防災計画を見直す

産業建設部長

住民の避難のための道路は、今後、地域防災計画を見直すなかで、どういった避難路がいいのかということも含めて具体的に考えていく。



防災道路計画はどうなったの？

その他の質問

- ◎ 企業誘致について
- ◎ 公共事業について

Q. 自転車による傷害事故対策を A. 傷害保険の情報を提供する



松本 一二美 議員



自転車事故が急増中！ 対策は？

問 自転車加害者となる「自転車対歩行者」の事故が急増し、高額な賠償を請求されるケースが増加している。

傷害事故対策として、自転車の事故に備えた保険などへの加入について、町民、児童生徒に対して更なる啓蒙、啓発が必要と考える。見解は。国道56号と想い通り（筒井徳丸線）との交差点の渋滞緩和と自転車の安全対策の考えは。

答 副町長

自転車保険の加入については、学校や伊予交通安全協会では新学期の自転車教室などの機会をとらえ、加入啓発を行っている。今後は広報などでも啓発をしていく。国道56号と想い通りとの交差点は、自転車横断帯を緑に着色し自転車を利用する人の安全を確保している。信号の調整は、実態を調査した上で公安委員会に伝える。

問 還暦式の開催を

60歳を迎えた町民が、ボランティア活動や地域活動に参加できるきっかけの意識啓発の場として「還暦式」を提案するが見解は。

答 ボランティア講座を開催する

健康福祉部長

還暦式は考えていないが、平成24年度よりボランティア活動の理解と普及を図るため、ボランティア体験セミナー講座を社会福祉協議会で実施する。

問 犯罪被害者へ支援を

犯罪や事故で被害を受けた方やその遺族など、犯罪被害者の支援について伺う。

行政だけでは対応しきれない犯罪被害者への支援をしている民間団体へ、「犯罪被害者等基本法」の趣旨に則り、財政的な補助をする考えは。

答 前向きに検討する

町長

充実した活動展開には犯罪被害等早期援助団体として公安委員会の指定を受けられるように、財政的基盤の整備を図りたい旨の要望がある。県内の市町とも連絡を取り合い、犯罪被害者に対する支援を、前向きに検討する。



男性も大活躍！ボランティア活動！！

「3・11フリマの祭典」において



稲田 孔 議員

Q. 最近の町民税の推移と消費税への見解は

A. 税収は減少、消費税増税には理解を示す

★消費税引き上げの問題に対して・・・
少子高齢化社会の福祉は、社会保障の安定財源の確保という課題が避けられない。消費税増税分を充てるとの説明に税体系全体の説明不足が問題で、一定の理解は示すが今後の議論が必要だ。

景気低迷の中で消費税増額は、暮らしに大きな影響をもたらす。「税と社会保障一体改革大綱」では現行の2倍の10%の引き上げを提唱している。町民税の推移と、消費税に対する町の見解を問う。
また、町の消費税額は。

町長

町民税収は19～21年度で12億7千万円前後の推移だが、22年度は約1億円減収している。

国保税も大幅減で、介護保険料も横並びで低調。

町の消費税額は、水道事業関係の消費税分と合わせて1億5,200万円程度の支払いとなった。

問 地域防災力アップには身近な防災用具や倉庫が必要では



自主防災組織の防災倉庫

答 今後防災計画の見直しの中で検討していく
総務部長

地域の自主防災会への財政援助、防災資材の貸与の計画はあるか。

身近に防災用具がある

と地域防災力が強まり防災倉庫が百世帯に1個ぐらい設置されると安心して避難もできる。財政的な問題もあるが検討を。

今後の防災講演会、避難訓練などの計画は。

地域の防災力を高めるために、地域の実情に合った活動ができるよう防災訓練や研修に対して補助金交付など支援している。防災倉庫や用具の購入については、今後の防災計画の見直しの中で検討していく。

防災講演会、訓練など、原発事故対応も想定した訓練も実施したい。

問 大型商業施設利用者の車両進入への対応策は

生活道路として利用している地元住民の安全対策は。信号機設置の要望については。

土、日、祝日の電車、バスの増便など事業者への要請はできないか。

答 地元関係者との説明会での意見を踏まえ検討する
産業建設部長

産業建設部長

古泉駅南から町道筒井徳丸線へ通じるルートは道路計画については測量を行い現在道路構造の検討中だ。この間、地元関係者との説明会で意見調整し、信号機の設置についても検討する。

進入車両軽減策として

電車、バス増便案も一定効果はあるが買い物後の荷物などショッピングセンターの性質上、駐車場へのスムーズな誘導などが渋滞緩和で効果大と考

える。今後も事業者への協力要請は続ける。

問 水路保全是自然の力で

宗意箱住宅の生活排水路から悪臭がするので改善を、という相談があった。

従来の治水一辺倒から、水路の三方張りの底を抜き自然石を敷く方式に改めてはどうか。

長尾谷川から魚介類の遡上を促し、自然浄化力で保全する考えは。

答 治水は従来の方法で原則地元で管理をお願いしたい
産業建設部長

産業建設部長

水路の管理については地元でお願いしたいのだが、以前に町で二重断面の水路改修を行っていて、ある程度水の流れがよくなった経緯がある。

なお来年度、県道から下流の改修を計画している。

その他の質問

◎ 中学必修科目の武道(柔道)の安全性は



Q. 救急救命体制の強化を

A. 連携体制で対応しているが、なお研究する



稲田 輝宏 議員



緊急通報、いざ急げ!!

問 救急車は出動すると、50分〜60分は帰って来られない。安心のまちづくりのために増車を望む。体制強化で多様化や高齢化の加速に対応準備を。

答 町長
23年度の救急車出動数は、1日平均3.4件で年々増加の傾向にあり、その6割が軽傷、中等症3割、重症1割となっている。

通報からの到着は平均6.5分、また搬送は平均35分で全国平均よりは短くなっている。
伊予消防組合では6台の高規格救急車の内、松前消防署には配備が1台だが、組合内での連携体制の対応ができています。
本来に必要な時に速やかに救急車が回せるように我々も努力するが、救急車の正しい利用を町民の皆さんにお願いしたい。
都市化・高齢者の増加の中、先取りは大事だが、増車は様々な規制もあり、十分勘案し伊予消防本部の取り組みなど研究していく。

古泉駅南道路は狭く離合・待合いが困難であるため、舗装は後でも良いので先行工事を。

問 安心なまちづくりのために

答 産業建設部長

全体の交通の流れを考えた場合、住宅地の整備を先行したいと考えている。
めどがつき次第、工事を計画している。



おっと危ない、狭い通りでのすれ違い!!

請願

●公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める請願

◎請願者

全日本年金者組合

松前班長 大西 信吾

紹介議員 稲田 孔

【論点】 現状では年金生活者の暮らしは厳しく、デフレ傾向が続く中では物価が下がっても年金を下げるべきではない。

・年金財源の緊迫状況打破には物価にスライドもやむを得ず、将来世代への過重負担の軽減も考慮すべきでは。

(反対多数で不採択)

●最低賃金時給1000円の実現と中小企業支援策の拡充を求める請願

◎請願者

2012年国民春闘愛媛

共闘会議

議長 田福 千秋

紹介議員 稲田 孔

【論点】 愛媛の最低賃金は全国的に下位のほうで労働者の暮らしは大変だ。

●伊方原発を認めないことを求める請願

◎請願者

平和と民主主義、くらしを守る愛媛県民大運動各界連絡会議

議長 田福 千秋

紹介議員 稲田 孔

【論点】 福島原発事故の検証もなし。新たな安全基準の見直しもまま再稼働してはならない。

・代替エネルギーの確保など懸念事項もある中で再稼働不許可の決断は難しいのでは。

(反対多数で不採択)

段階的引き上げが急がれる。

・経営側では急激な賃金引上げは企業経営に多大な影響を与え雇用者の減少や労働環境の悪化につながるのでは。

(反対多数で不採択)

議員提出議案

●「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書

東日本大震災のような大規模自然災害時には、「非常事態宣言」の発令により政府主導のもとに震災救援と復興に対処すべきところ現行法では限界がある。国家的緊急事態を乗り切り国民の生命財産を守るためこの法律の早期制定を強く要望するものである。

【論点】 「非常時」「平時」の解釈が分かれるところだ。現行法の運用で乗り切れると考えるかどうか。

(賛成多数で採択)

提出先

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

他 関係閣僚

研修報告

議会広報特別委員会

◎日程

2月13日～14日

◎目的

議会広報のレベルアップ

(1日目)

●研修地

香川県三木町



●研修結果

三木町は、人口 約2万8千人、面積 約76平方km

高松市とさぬき市に隣接した緑豊かな町。

表紙に地元有名人を掲載するなど、住民にとって読んでみたいと思える議会広報作りに格闘する姿にも共感を覚えた。

広報委員会の裁量として発行ごとに変革を試みるなど、驚きと共に良い広報紙にしようとの意気込み、学ぶ事が多くあった。

(2日目)

●研修地

高知県越知町

●研修結果

越知町は、標高300～900mの中山間地域、人口 約6千4百人、面積 約110平方km

仁淀川のお膝元「神秘とロマンの森」がキャッチフレーズのこの町は、まさにたくましさに溢れている。

議会広報全国大会において、これまで何度も受

賞の栄を受けている名立たる町でもある。

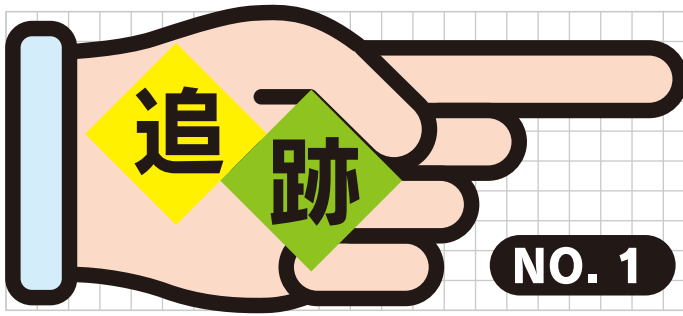
1枚の写真への執念や行動力に驚き、妥協を許さない姿勢にも大いに感化された。

また、広報委員の意欲・団結力がレベルアップにつながることも学んだ。

四万十町の方々も同席して意見交換ができた充実の研修会となった。

★今回の研修を、今後の当町の取り組みに活かしていきたい。





あれは、 どうなったあ～



★以前に一般質問や委員会などで行政側から「今後の検討課題」との回答だったものが、その後どうなったか追跡し、さらに住民の皆さんへお知らせしていくページ。

資源ゴミの持ち去り防止対策は

地域住民が回収した資源ごみを町指定業者以外の者が持ち去るケースが増えている。町としての対策は。
(H 20年6月 藤岡議員)

資源ごみ持ち去り禁止条例制定を検討しては。
(H 23年12月 村井議員)

地域管理を徹底することが大事。看板設置、屋内場所に保管など持ち去りにくい環境整備を。
(町長回答)

となっていました…

資源ごみを持ち去った者に対して罰則を課すといった内容の条例の改正案を12月議会に提案し、翌年4月から実施したい。
(町民課長回答)

となりました。



「地域の資源ゴミ回収作業中…」

町民の声

「松前町に歴史・芸術の拠点を」

Y・S

観光旅行や視察で方々訪問しても必ず覗くのは、美術館や博物館、歴史資料館である。それは、その地域を知る最も近道であり、住民の地域に対する愛情と誇りが感じられ、また、文化意識のバロメータでもある。

展示場所がある。しかし、松前町には県外から訪れた人を案内する、そのようなところがない。そして旧家や古民家が建て替えられた際、古文書や古地図、骨董品が無残に燃去されたり町外に流失している状況を目にすると「教育の町」を宣言している松前町の住民としては、恥ずかしく残念な思いがする。先日もある農家の納屋の解体に遭遇した庫中には手こぎの脱穀機、牛引きの鋤に始まって数々の古い農機具があり、きちんと整理されており、農耕博物館でもあれば農業の歴史を知る大切な資料となると残念に思ったが、全て廃棄物処理業者によって廃棄されていた。松前城を有し、義農作兵衛を輩出した歴史的にも格調高い地域であり、また重信川の源流に残されている古墳からその歴史的な価値のあるこの松前町に、歴史資料館や博物館がなく、また多くの芸術家を輩出しているにもかかわらず、美術館がない、誠に残念に思う。一刻も早くこの様な大

切な宝を保管、解明し松前町の真の歴史的背景や芸術を未来に伝えて欲しいと、切に要望する。



義農作兵衛像



傍聴席

町議会を傍聴して

Y・G

議会議室は、薄い藤色のじゅうたんが敷き詰められ、明るい色調の机が設置され議長席にはきれいな生花が飾られています。

このような恵まれた環境で議を開催できることは、とても幸せなことだと思いました。町長さんはじめ役場の方々・議員の方々も、とても真摯に取り組んでいらっしゃいました。休憩時間には、傍聴人のお一人が町長さんに、「手話通訳があればよかったです」と言うと、すぐ

に「事前に言っていただけければ」と対応していらっしゃいました。町民の声をいかす姿勢は素晴らしいと思います。後は、私達町民一人ひとりの小さな努力が、よりよい街づくりにつながると思っています。

広報委員会からお知らせ

新年度から、議会広報の中心をさらに充実させるため、新企画のページを増やしました。

議会での活動をよりわかりやすく正確に伝えることが最重要課題と考えています。これからは委員全員で、頑張っていきます。

「議案に対する各議員の賛否表」や、以前から話題になっていた案件についてその後を追跡する「あれは、どうなった？」の掲載項目。



町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。

(500字程度)

【宛先】

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
「町民の声」
Fax 985-4148
E-mail :
500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴の案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。 (次回は6月上旬中旬の予定です)



松前の公共施設紹介 《第1回》

こんなところですよ！ こんなこともしています！

松前町ふるさとライブラリー



ライブラリーって？

町の図書館です。

どこにあるの？

松前文化センターの1階にあります。

利用できるのは？

開館 9時半～19時
月曜は、お休みです。

蔵書数は約9万1千冊

親子で絵本選び・

学生さんは勉強で・

ひまわりバス乗車で

利用して下さいね。

ライブラリーからお願い!!

本を大切に

本を破ったり、落書きしたりしないでね。
返却期間を守ってね。

お話し会

読書の好きな
こどもに...

第4土曜日 11時～

絵本の読み聞かせなどを
しています！



熱中★時代!?



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

編集後記

議会広報編集特別委員会も昨年の選挙の後、一部の委員が入替わりしました。2月には、議会広報誌の先進地へ研修に行き、少しでも、見やすく、分かりやすくなじみある議会広報誌を目指し、今回号から一部変更をしております。

いかがでしたか。今後ともよりよい議会広報誌作成のため、全員が頑張ります。

(加藤)

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 藤岡 緑
 - 副委員長 松本一二美
 - 委員 村井慶太郎
 - 委員 八束 正
 - 委員 加藤 博徳
 - 委員 稲田 輝宏
 - 委員 稲田 孔